

## 世界各地の伝承遊戯(ゲーム)の収集、保存及びこれらの体系化と文化的な関連性の研究

四天王寺大学非常勤講師 梅林勲

### 1. 収集、保存の対象

- ① 世界各地の伝承遊戯(ゲーム)について、主として専用の用具を使用する室内ゲームを対象とし、屋外の遊びについても専用の用具を使用するものを対象とする(スポーツとして分類されるものは省く)。
- ② 上記の伝承遊戯(ゲーム)について、遊びや歴史が記載された文献、及びネットにおけるデータも対象とする。

### 2. 対象物の使用・製造地域の記録

購入地、購入相手、文献、ネットのデータ等にて対象物の入手の都度、出来る限り細かい地域まで記録する。

### 3. 対象物の体系化と国、地域間の関連性

世界各地の伝承遊戯(ゲーム)は、特定の地域に孤立して存在するものは稀で、遊び方や用具には色々なバリエーションがあるが、体系化して整理できるものが多い。それらを使用される国や地域を特定して体系化する。また、このような体系化から文化的な繋がりや民族的な特性を考える。

### 4. データの公開

本研究プロジェクトを通じ収集、保存、体系化した伝承遊戯(ゲーム)の公開、及びそれらのものを通じてプロジェクト代表者が感じた地域間の関連性等についてのコメントの公開を行う。

### 5. 広く様々な研究者の意見を聞き、収集するための研究の対象としての資料化

収集、保存したデータを通じたプロジェクト代表者のみによる分析には、文化や民俗学的な観点から限界があり、根拠に乏しい。そこで本件研究プロジェクトにより広く様々な研究者の方々の意見を聞き、研究の対象として資料化が出来ることを望みます。

### 6. その他

プロジェクト代表者によるものですが、収集、保存に際しての体系化の方法、ゲームの用具や遊び方を通じた地域的特性、遊び方の変化、ゲームの用具そのものに係わる若干の意見等、及び収集、保存に際して感じ、体験したことを質疑応答にて述べたいと思います。

また、可能な範囲にて実際のゲームの用具や収集したもののコピー写真を持参して説明したいと思います。

以上